

令和6年度秋田大学大学院医学系研究科
医学専攻（博士課程）入学試験
（2回目）

小論文

令和5年12月21日（木）（12:40～14:10）

試験終了後、解答用紙のみ提出してください。

監督者の指示があるまで問題を開かないでください。

問題用紙	4枚
解答用紙	2枚

I 以下の文章を読んで問いに答えなさい。

(本文省略)

(本文省略)

(本文省略)

(本文省略)

＜出典：伊藤羊一、「僕たちのチーム」のつくりかた，ディスカヴァー・トゥエンティワン、2022 より一部改変＞

問1 自分の所属する組織と自分のチームの意見が合わないとき，リーダーが行うべきことを150字以内で述べなさい。

問2 ①と②にコミュニケーションに関する2文字の熟語をそれぞれ記入しなさい。

問3 この文章から導かれるあなたが考える「理想の研究チーム」を150字以内で述べなさい。

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

医学専攻（博士課程）「小論文」 解答用紙

1/2

I

問1 自分の所属する組織と自分のチームの意見が合わないとき、リーダーが行うべきことを 150 字以内で述べなさい。

(横書き)

20×8

(150 字)

問2 ① と ② にコミュニケーションに関する 2 文字の熟語をそれぞれ記入しなさい。

① _____

② _____

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

医学専攻（博士課程）「小論文」 解答用紙

2/2

問3 この文章から導かれるあなたが考える「理想の研究チーム」を 150 字以内で述べなさい。

（横書き）

20×8

（150 字）

【博士 小論文（和文）】

問1. 自分の所属する組織と自分のチームの意見が合わないとき、リーダーが行うべきことを150字以内で述べなさい。

（解答例）

受動的に組織の方針に従うのではなく、「自分はどうか」という志を持って主体的なスタンスとする。組織と十分に話して組織の意図を理解したうえで、自分の意思と折り合いをつけながら、自分たちのチームがやらなければならない理由を見つけて、メンバーと丁寧なコミュニケーションを図った後にチームを動かす。

147/150 字

配点 40 点

採点基準

- 「ただ、組織に従うのではなく、自分の意思を持つ」という内容が記されている・・・5 点
- 「主体的」という言葉がある・・・5 点
- 本文には記載されていないが「主体的」の対義語である「受動的」という言葉があれば対比されていてなおよい・・・5 点
- 「組織の意図を汲んで、主体敵に自分のチームがやるべきことを探す」という内容が記されている・・・10 点
- 「メンバーと丁寧なコミュニケーションを図る」という内容が記されている・・・5 点
- 最終的に「チームを動かす」という内容が記されている・・・5 点

問 2. ① と ② にコミュニケーションに関する二文字の熟語をそれぞれ記入しなさい。

(解答) ① 対話 ② 説得

配点 20 点 (各 10 点)

採点基準

- 本文のまま
- コミュニケーションに関する別の言葉でも①が寄り添う, ②が押し付けて納得させるような意味があれば可, または部分点もありとする。

問3. この文章から導かれるあなたが考える「理想の研究チーム」を150字以内で述べなさい。

(解答例)

「まだ明らかにされていないテーマを解明する」という明確なビジョンと志を持ったリーダーのもとで、同じビジョンを共有したメンバーが真摯に研究するチームが理想である。メンバーが意見を言いやすく、それぞれの特性を最大限活かしてチーム全体で研究テーマを克服できるような環境をリーダーが構築することが望ましい。

149/150 字

配点 40 点

採点基準

- 内容に関わらず、「理想の研究チーム」が120字以上で記されている・・・10点
- 「ビジョン」(具体的な内容はなくてもよい)が記されている・・・5点
- 「ビジョンを共有することの重要性」が記されている・・・5点
- 「心理的安全性」や「メンバーのポテンシャルを発揮させる」などチームとしての重要な要素が記されている・・・10点
- 論理展開が適切であれば・・・10点